

ニコンの企業市民活動

基本的な考え方

考え方・方針

ニコングループは、良き企業市民でありたいと願い、社会や地域とともに発展するため、「ニコン企業市民活動方針」に基づき、主に次の世代を対象とした活動を推進しています。



ニコン企業市民活動方針

<https://www.jp.nikon.com/company/sustainability/citizenship/>

2022年3月期の主な実績

ニコングループが企業市民活動
によって支援した「次の世代」

14,645名

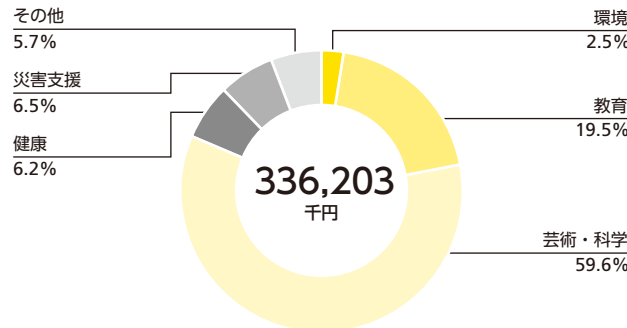
推進体制

体制・仕組み

ニコングループでは、サステナビリティ委員会を中心としたサステナビリティ推進体制の中で、グループ全体の企業市民活動を推進しています。なお、年1回のニコングループ企業市民活動調査により、ニコングループ各社の取り組みが方針に沿っているかモニタリングし、その結果をサステナビリティ委員会に報告しています。

サステナビリティ推進体制 (→ P9)

● 企業市民活動の支出額(2022年3月期)



企業市民活動への従業員参加

ニコングループでは、従業員が企業市民活動へ参画するための環境づくりに取り組んでいます。ニコンの「ボランティア休暇制度」のように制度によるサポートを行うとともに、従業員が参加しやすい活動を企画し、参加を呼びかけています。

● ニコングループの企業市民活動の従業員参加人数

2022年3月期実績 (のべ)	2,681名
-----------------	--------

主な活動

活動・実績

地球環境を次の世代へつなぐ

ニコングループでは、地球環境を次の世代へつなぐことをめざし、子どもたちへの環境啓発活動に取り組んでいます。

ニコンでは、生物多様性復元計画「赤谷プロジェクト」の支援の一環として、子どもたちに向けた冊子『赤谷ノート』を企画・制作して無償で配布しています。2022年3月期は、教育機関に229冊を配布しました。また、Nikon Europe B.V.では、国際環境教育NGOのFoundation for Environmental Education (FEE)のオランダ支部と協働し、ニコンの実体顕微鏡「ファールフォト」を使った環境教育プログラム「Light on Small」を提供しています。2022年3月期は、オランダ国内の789名の子どもたちがこの教材を活用しました。

生物多様性保全・復元への支援 (⇒ P87)

● ニコングループの環境啓発の取り組みに参加した子どもたち

2022年3月期実績	1,018名
------------	--------



「Light on Small」は、2017年9月から提供が開始され、以来4年間で、38校の子どもたち2,369名がこの教材で学びました。



森の生き物を題材に生物多様性を学べる『赤谷ノート』。赤谷の森のある群馬県みなかみ町では、町内の学校で環境教育に活用されています。2022年3月期も、赤谷プロジェクトを担う公益財団法人日本自然保護協会を通じてみなかみ町に寄贈しました。

子どもたちが将来を描くために

ニコングループでは、自社製品に関わりのある地域を中心に、経済的な理由で学校に通うことが困難な子どもたちの就学支援に取り組んでいます。

ニコン、Nikon (Thailand) Co., Ltd.、Nikon Lao Co., Ltd.の3社では、国際教育NGOを通じタイとラオスで奨学金を支給しています。タイでは、2022年3月期中・高校生と大学生169名に奨学金を支給し、15年間の支給人数はのべ2,577名となりました。ラオスでは、毎年100名の中学生に奨学金を支給しており、8年間での支給人数はのべ800名となりました。

また、国内ニコングループは、開発途上国の子どもたちの健康の向上とともに、通学のきっかけにつながる、国際連合世界食糧計画(国連WFP)の学校給食支援に協力しています。2022年3月期は、161名の1年間の通学を支えられる学校給食40,188食分の1,205,633円を寄付しました。

● ニコングループの就学支援で学校に通えた子どもたち

2022年3月期実績	430名
------------	------



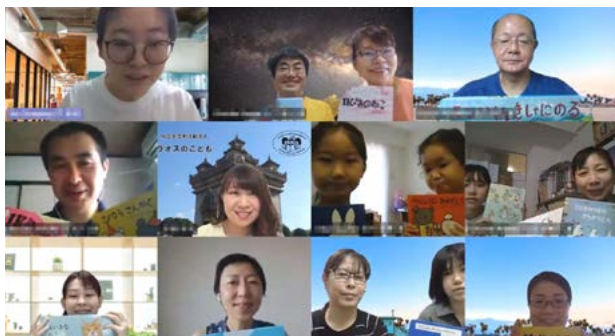
タイの奨学金は公益社団法人シャンティ国際ボランティア会、タイのシーカー・アジア財団を通じて支給しています。写真は、2021年3月期の授与式の様子。

Column

日本から絵本を届ける活動～ラオス語絵本づくり

国内ニコングループでは、特定非営利活動法人ラオスの子ども (Action with Lao Children, ALC) の「ラオス語絵本プロジェクト」に参加し、従業員のボランティアによる「ラオス語絵本づくり」に取り組んでいます。この取り組みは、日本語の絵本にラオス語の翻訳を貼り、ALCを通じてラオスの学校の図書室などへ絵本を届ける活動です。

ラオスでは、日本のように書籍や書店が多くなく、子どもたちが本に触れる機会が限られています。そこで、日本でできるラオスへの教育支援として2018年3月期から活動を始め、5年間にわたり継続しています。この2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響から、自宅でできるボランティアとして募集、活動しています。2022年3月期は、のべ103名の従業員が参加し、232冊の絵本をラオスに届けました。



ラオス語絵本づくりのボランティア活動は自宅で行うため、活動期間中、オンラインによる説明会や交流会を開催しながら実施しています。

未来を拓く次の世代を応援

ニコングループでは、これからの産業や芸術・文化を担う人材を発掘・育成する活動に取り組んでいます。

ニコンイメージングジャパンでは、写真文化の普及・向上を目的に開設した写真展示場「ニコンサロン」において、新進写真家による最も優れた作品展に対し「三木淳賞」を贈呈しています。またニコンでは、東京大学生産技術研究所に開設する「ニコンイメージングサイエンス寄付研究部門」により次代の光学産業をリードする技術者の育成に協力しているほか、ラオス国立サバナケット大学でのニコン・JICA 奨学金により日本語の分かる産業人材の育成に協力しています。海外グループ会社においても、写真業界をめざす若者への奨学金事業などの活動に取り組んでいます。

● ニコングループの人材発掘・育成の取り組みに参加した人数

2022年3月期実績	13,197名
------------	---------

※「ニコンフォトコンテスト」は隔年開催のため、「2020-2021」の応募人数26,167名の半数を2022年3月期の実績とする。



ニコン・JICA 奨学金の日本語学科の奨学生有志からニコンに届いたメッセージ動画。

地域の幸せを未来に受け継ぐ

ニコングループでは、より良い地域を未来へ受け継ぐことを願い、地域の人々の幸せと健康に貢献する活動に取り組んでいます。

Nikon India Private Limited

SOS Children's Villages of India の活動を通じて、社会的養護が必要な子どもたち40名に対する家庭養育環境の提供に貢献しています。



Nikon Precision Taiwan Ltd.

毎年、地域の複数の福祉団体を支援しており、従業員の募金活動に対するマッチング・ギフトにも取り組んでいます。



Nikon Precision Inc.

Nikon Research Corporation of America

米国の西海岸にあるこの2社では、従業員による地域貢献委員会で寄付先を選定し、地域のフードバンクなどを継続して支援しています。



Optos Plc

地元スコットランドのファイフ地区で活躍する、医療アイテムを患者に無償配送するボランティア・グループ、Blood Bikes Scotland の支援を通じて地域医療に貢献しています。



関連情報

「企業市民活動」に関する詳細は、ウェブサイトをご覧ください。



企業市民活動

<https://www.jp.nikon.com/company/sustainability/citizenship/>

Web